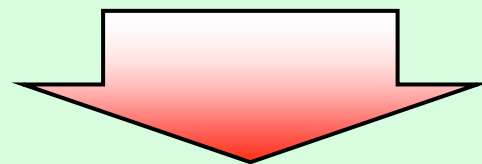


平成19年度 京丹後市予算編成方針

財政健全化に向けた挑戦
『 選択と集中 』

京丹後市の財政状況

- 自主財源 3割・依存財源 7割の財政構造
- 国庫補助負担金の一般財源化
- 新型交付税の導入など地方交付税制度の見直し ⇒ 交付税総額の減少
- 三位一体の改革により所得税の一部が税源移譲で増加するものの普通交付税および所得譲与税の減額で吸収



市の一般財源見込みは非常に厳しく、財源状況はさらに厳しさを増すと想定

京丹後市の財政状況

- 財政調整基金・減債基金の17年度末残高は増加したものの18年度予算編成にあたり多額の基金繰入金を計上 ⇒ 19年度予算計上可能額は18年度予算編成時よりも減少
- 扶助費および特別会計等への繰出金が増加傾向
- 総合計画策定後、初めての通年予算であるため、大型の普通建設事業が数多く計画されている

このような財政状況のなかで、 平成19年度予算編成にあたっては…

- 京丹後市総合計画（平成18年3月策定）の基本構想を達成するための基本計画に基づく“実施計画”
- 京丹後市行財政改革大綱（平成16年12月策定）に基づく『行財政改革推進計画（集中改革プラン）』

これら計画との整合を図りつつ、

本格的なまちづくりを進めていくため、『費用対効果』と『優先順位』によるメリハリのある予算を編成⁴

～財政健全化に向けた挑戦～

- 『選択と集中』による効果的な事業執行をするため、平成19年度予算編成において新たな取り組みを行う

重点事業の絞込み
と既存事業の抑制

効果的な事業実施と
財源の効率的配分

- 選択事業については、優先度・緊急度等の重要性を事業所管部局で判断
- 財源、事業効果(費用対効果)等の総合的な見地に基づき、優先順位をつける(各部局10事業程度 ソフト事業を含む)

予算要求に対する説明責任はもとより、他の事業を抑制しても実施する必要性を明確化

～財政健全化に向けた挑戦～

● 行財政改革推進計画の実施

中期的な視点では、引き続き、平成21年度での基礎的財政規模270億円程度（一般会計ベース）を目指す

平成19年度では、決算規模を約283億円とすることを目標としているが、懸案事業もあることから行財政改革推進計画に準拠しつつ、必要最小限の予算を編成する

（参考）平成18年度一般会計当初予算 284億5,000万円

- 人件費・・・職員数の削減および職員給与制度等の改革を推進する中で、特別職給与等を含めて総額約2.5億円の削減を目指す
 - 物件費・・・原則、平成18年度当初予算総額を上限とする（新規事業分、アウトソーシング含む）
 - 補助金・・・「補助費のあり方検討会議」での方針を基本としつつ、抜本的な見直しを行う
- ◇アウトソーシング（外部委託）・・・経費節減、業務が効果的・効率的に実施できるものを積極的にすることとし、直接雇用することとしたもの以外の臨時職員の任用については、京丹後市総合サービス株式会社（仮称）からの派遣または業務委託とする

～財政健全化に向けた挑戦～

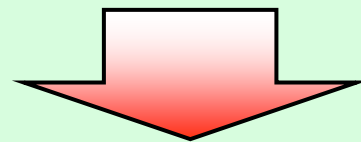
- 総合計画に基づいた事業実施

- ◆ 基本構想で掲げる将来像

- 『ひと、みず、みどり

- 歴史と文化が織りなす 交流のまち』の実現

- ※19年度以降の総合計画（実施計画）については調整中



事務事業の総合計画上の位置付けを明確化

～財政健全化に向けた挑戦～

● 指定管理者との協議・調整

平成18年度・・・指定管理者制度へ移行

平成19年度・・・当初予算で通年の財政効果を表す

⇒ 指定管理者との十分な協議・調整をしたうえでの予算編成とする

● 予算編成過程の公開

◆市民協働のまちづくりを推進するため、平成19年度予算編成についても、引き続きその編成過程を公開し、財政の透明性を確保する

◆各地区からの要望事業については、行政としての説明責任をより果たしていくとともに、市民協働による予算編成をさらに推進するための取り組みを検討

～財政健全化に向けた挑戦～

●財源の確保

- ◆所得税の一部が地方税へ税源移譲されることにより、今まで以上に税収確保が重要となる。このため、市税の滞納整理については、公平性を確保する観点からも、より厳しく、かつ、全力を挙げて徴収に取り組む必要がある
- ◆三位一体の改革による国庫補助金の一般財源化または交付金化など制度変更が多くある中、国等の情報を的確に捉え、遺漏がないようにし、円滑な事業実施のため、国の交付金等を積極的に活用
- ◆市債残高の逡減のためにも市債発行は極力抑制するとともに、市民協働のまちづくりを推進するため、『住民参加型ミニ市場公募債』の発行を検討
- ◆分担金および負担金、使用料・手数料については不均衡なものがあれば是正し、その適正化に努める

～財政健全化に向けた挑戦～

● プロジェクトチーム

現在設置されている3つの『プロジェクト』について、予算化の検討を行う

◆ 定住促進対策プロジェクトチーム

人口の自然増および社会増による京丹後市の活性化を目指した定住促進のための調査研究、企画立案・施策形成

◆ 地域通貨導入検討プロジェクトチーム

地域住民の互助、扶助等による新しいコミュニティづくりに向けた地域通貨のシステム導入を検討するための調査研究、企画立案・施策形成

◆ 新交通体系構築プロジェクトチーム

通院、通学その他の福祉増進並びに観光客の利用拡大等に向けた路線バス、市営バスその他の交通体系システムの構築のための調査研究、企画立案・施策形成